

令和3年度厚生労働科学研究費補助金  
障害者政策総合研究事業

高次脳機能障害の障害特性に応じた  
支援者養成研修カリキュラム及び  
テキストの開発のための研究

令和3年度 総括研究報告書

研究代表者 深津 玲子

令和4年（2022）年 3月

## 目 次

I.	総括研究報告	
	高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発 のための研究……………	1
	国立障害者リハビリテーションセンター 深津 玲子	
II.	研究成果の刊行に関する一覧表……………	5
III.	付録	
	高次脳機能障害支援者養成研修カリキュラム……………	9
	高次脳機能障害支援者養成研修 基礎編シラバス……………	11
	高次脳機能障害支援者養成研修 実践編シラバス……………	15

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）  
総括研究報告書

高次脳機能障害の障害特性に応じた  
支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究

研究代表者

深津 玲子：国立障害者リハビリテーションセンター病院 第三診療部長

研究要旨

本研究は、高次脳機能障害者に対する支援者養成研修のカリキュラムおよびテキストを開発し、同障害者への適切な支援につなげることを目的とする。研究2年目である令和3年度は、昨年度作成した研修カリキュラムおよびテキストを用いて6月に国立障害者リハビリテーションセンター学院にてオンライン研修会を開催、その結果をもとに基礎編および実践編のテキスト改修を行い、基礎編テキスト第2版、実践編テキスト第2版を作成した。研修カリキュラムの構成は昨年度と同様で、基礎編と実践編、各12時間（6時間×2日間）、どちらも講義（40分×9講座）と演習（基礎編は90分×4、実践編は180分×2）とした。基礎編の講座は、障害定義、診断評価、医学的リハビリテーション、失語症とコミュニケーション支援、制度利用、相談支援、生活訓練、復職・就労移行支援、生活と支援の実際、診断・評価体験、退院時支援の実際、生活訓練の実際、復職・就労移行支援。実践編の講座は、支援体制、発達障害・認知症との共通点と相違点、小児期における支援、長期経過とフォローアップ、多職種連携、家族支援・当事者家族会の活動、地域生活支援の実際、支援の実践的な枠組みと記録、自動車運転再開支援である。それぞれの講座に分担研究者、研究協力者を担当者とし、シラバスを作成したうえでテキスト第2版の執筆を行った。テキスト第2版を用いて、5回（所沢市、三重県、名古屋市、千葉県、高知県各1回）試行研修を実施した。今後試行研修の結果を還元し、さらにテキスト改修を進め、また支援拠点機関と共催で研修会開催を重ねることで、支援者養成研修のパッケージ化を進めたい。

研究分担者

立石雅子：日本言語聴覚士協会 副会長  
青木美和子：札幌国際大学人文学部心理学科  
教授  
上田敬太：京都光華女子大 教授  
渡邊修：東京慈恵会医科大学 教授  
鈴木匡子：東北大学 教授  
廣瀬綾奈：千葉県千葉リハビリテーションセ  
ンター 科長  
浦上裕子：国立障害者リハビリテーションセ  
ンター病院 リハビリテーション部長  
今橋久美子：国立障害者リハビリテーション  
センター研究所 室長

研究協力者

片岡保憲：脳損傷友の会高知青い空 理事長  
古謝由美：日本高次脳機能障害友の会 監事  
守矢亜由美：東京都心身障害者福祉センター  
地域支援課 高次脳機能障害者支援担当  
鈴木智敦：名古屋市総合リハビリテーション  
センター 副センター長  
瀧澤学：神奈川県総合リハビリテーションセ  
ンター 総括主査  
佐宗めぐみ：相談支援「楽翔」管理者  
小西川梨紗：滋賀県高次脳機能障害支援セン  
ター 臨床心理士  
コワリック優華：滋賀県高次脳機能障害支援

センター 看護師

稲葉 健太郎：名古屋市総合リハビリテーションセンター自立支援部 就労支援課長

熊倉 良雄：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 室長

安部 恵理子：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 作業療法士

石森 伸吾：国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 主任

山舘 圭子：栃内第二病院 臨床心理士

小島 一郎：名古屋市総合リハビリテーション事業団瑞穂区基幹相談支援センター 所長

#### A. 研究目的

高次脳機能障害の支援については、障害福祉制度の整備は進んだが、同障害の特性に応じた支援が現場で十分行われているとは言えない。この課題に対応するため、申請者は平成 30、令和元年度厚労科研を用いて「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援マニュアルの開発研究」を実施し、その一環として、支援の実態調査及び分析を行った。結果地域の障害福祉事業所の利用は増加しているが、高次脳機能障害者の支援経験が無い／少ない事業所が大半であり、一方でこれまで支援経験のない事業所の 7 割が同障害の知識・情報を習得し、スタッフの支援体制を整えば同障害者の利用を受け入れたい、と回答した。このことから障害福祉サービス現場の支援者養成が喫緊の課題であることが明らかとなった。本研究は、高次脳機能障害者に対する支援者養成研修のカリキュラムおよびテキストを開発し、同障害者への適切な支援につなげることを目的とする。高次脳機能障害に対応可能な支援者を増やすことで、同障害者が住み慣れた地域で生活を営める体制整備の推進を図る。

#### B. 研究方法

1) 先行する各種養成研修について情報収集および分析を行う。

2) 1) を参考に基礎編および実践編カリキュラムを作成する。

3) カリキュラムに沿って、テキストとシラバスを作成する。

4) 試行研修を繰り返し、受講者アンケート等の結果に基づいてカリキュラムおよびテキストを修正する。

昨年度 1) 2) 3) を実施し、基礎編テキスト第 1 版を作成した。今年度は昨年度未完であった実践編テキスト第 1 版を完成し、4) を実施した。

(倫理面への配慮)

研修テキストには、個人が特定されるデータは使用しない。事例報告等を行う場合は、所属機関の倫理審査委員会の承認を得たうえで、インフォームドコンセントを徹底し、対象者及び家族の同意を得る。また、個人が特定できないように格別の注意を払う。加えてコンピューター犯罪のリスクを完全に防御されるよう最大限の努力をする。

#### C. 研究結果

1) 先行する養成研修の情報収集と分析：強度行動障害、ホームヘルパー、ガイドヘルパー、障害福祉従業者等の養成研修の実施要項を集め、対象、参加要件、時間数、講義・演習内容、受講のメリット等を比較した。

2) 研修会基礎編および実践編カリキュラム作成：1) の比較結果に基づき、研究分担者、支援拠点機関、行政、当事者団体等との意見交換を行い、基礎編と実践編、各 12 時間 (6 時間×2 日間) のカリキュラムを作成した。どちらの研修も講義 (40 分 x 9 講座) と演習 (基礎編は 90 分 x 4、実践編は 180 分 x 2) の構成とした。基礎編の講義 9 講座は、障害定義、診断評価、医学的リハ

ビリテーション、失語症とコミュニケーション支援、制度利用、相談支援、生活訓練、復職・就労移行支援、生活と支援の実際、演習4講座は、診断・評価体験、退院時支援の実際、生活訓練の実際、復職・就労移行支援。実践編の講義9講座は、支援体制、発達障害・認知症との共通点と相違点、小児期における支援、長期経過とフォローアップ、多職種連携、家族支援・当事者家族会の活動、地域生活支援の実際、支援の実践的な枠組みと記録、自動車運転再開支援である。それぞれの講座に分担研究者、研究協力者を担当者とし、シラバスを作成した。

3) 基礎編および実践編テキスト作成：本年度6月国立障害者リハビリテーションセンター学院で開催した高次脳機能障害支援関係者研修会で基礎編テキスト第1版を用いた。その結果をもとに、基礎編テキストおよび実践編テキストの改修を実施し各講座の担当者が第2版を作成した。各講座の担当者は下記の通り。基礎編；障害定義（深津玲子）、診断評価（鈴木匡子）、医学的リハビリテーション（渡邊修）、失語症とコミュニケーション支援（立石雅子）、制度利用（今橋久美子）、相談支援（瀧澤学）、生活訓練（安部恵理子）、復職・就労移行支援（稲葉健太郎）、生活と支援の実際（青木美和子）、演習4講座は、診断・評価体験（深津玲子）、退院時支援の実際（瀧澤学）、生活訓練の実際（石森伸吾・安部恵理子）、復職・就労移行支援（稲葉健太郎）。実践編；支援体制（深津玲子）、発達障害・認知症との共通点と相違点（上田敬太）、小児期における支援（廣瀬綾奈）、長期経過とフォローアップ（浦上裕子）、多職種連携（小西川理紗）、家族支援・当事者家族会の活動（青木美和子）、地域生活支援の実際（立石雅子）、支援の実践的な枠組みと記録（小島一郎）、自動車運転再開支援（熊倉良雄）で各担当者が執筆した。演習2講座は、ロールプレイを取り入れた障害特性の理解と対応（山舘圭子）、アセスメントと計画立案（渡邊修・今橋久美子）とした。基礎編テキスト第2版は完成、実践編テキスト第2版はおお

よそ完成しているが、一部未完成であり、来年度引き続き作成する。4) モデル研修および受講者アンケート：令和3年度に6回（所沢2回、三重県、名古屋市、千葉県、高知県各1回）試行研修を実施した。本年度6月に所沢市で実施した国立障害者リハビリテーションセンター学院研修では基礎編カリキュラムおよびテキストを用いて、講座担当者（執筆者）が講師を務め、オンラインで実施した研修の受講者アンケート（受講者数174名、回収者数116名（回収率66.7%））では、全体評価は、①非常に良い31.9%、②良い60.3%、③普通6.9%、④悪い0.0%、⑤非常に悪い0.0%、⑥未記入0.9%であった。自由回答として、「初心者にわかりやすかった」「講義は動画で配信してほしい」などが挙げられた。その他の研修会では基礎編あるいは実践編の一部講座をテキストを用いて自治体、当事者家族会が実施した。

#### D. 考察・結論

今年度は基礎編および実践編カリキュラムとテキストの試案を開発し、新型コロナウイルス感染の状況に鑑み、その仕様をオンライン研修用にも編集した。

本研究は、神経内科学、脳神経外科学、リハビリテーション医学、神経心理学、社会福祉学等、分野横断型の取り組みであり、高次脳機能障害者・児の生活支援を多角的にとらえて補完しあい、社会への還元を目指す試みである。障害特性に応じたサービスを提供できる人材の育成は、社会的要請に基づく課題であり、その成果は障害福祉行政施策に直接寄与するものである。

4) その他特記すべき事項について なし

#### F. 健康危険情報 特になし

## G. 研究発表

### ・論文発表

1. Ubukata S, Ueda K, Fujimoto G, Ueno S, Murai T, Oishi N. Extracting Apathy From Depression Syndrome in Traumatic Brain Injury Using a Clustering Method. J Neuropsychiatry Clin Neurosci. 2021 Nov 19: appineuropsych 21020046. doi: 10.1176/appi.neuropsych.21020046. Online ahead of print. PMID: 34794328
2. 渡邊 修：高次脳機能障害に対するリハビリ療—患者・家族会との連携—リハ医学 58(4):418-427. 2021
3. 北村理恵, 立石雅子, 小田柿誠二, 渡辺望, 近藤国嗣：慢性期失語症者に対する代償手段獲得訓練について。—描画とジェスチャーを用いて— 高次脳機能研究. 41(1):13-21. 2021
4. 浦上裕子, 山本正浩, 北條具仁ほか. 記憶障害が遷延した右尾状核出血に対するリハビリテーション. 高次脳機能研究 41(1):45-53. 2021
5. 今橋久美子, 立石博章, 小西川梨紗, 宮川和彦, コワリック優華, 森下英志, 粉川貴司, 平山信夫, 深津玲子. 指定特定相談支援事業所および指定障害児相談支援事業所における高次脳機能障害者・児への支援状況報告. 高次脳機能研究 41(4): 421-426. 2021

### ・学会発表

1. 渡邊 修：交通事故後の脳外傷者に対するリハビリテーション治療（教育講演）第58回 日本リハビリテーション医学会学術集会. 2021年6月10-13日 京都
2. 青木美和子：【シンポジウム 「フィールドワークでの経験と研究」】 「フィールドの調査者から参加者へ」 日本質的心理学会第18回大会 with ソウル 2021年10月23、24日 WEB

3. 鈴木匡子： “高次脳機能障害を” 見える化” する試み 第62回日本神経学会学術集会 2021.5.19-22 京都

## H. 知的財産権の出願・取得状況 なし

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
立石雅子	必ず学びたい安全管理学・救急医療学	内山靖・藤井浩美・立石雅子	リハビリシック安全管理学・救急医療学	医歯薬出版	東京	2021	8-15
立石雅子	リハビリテーションにおける連携、安全管理、急性期の訓練・援助、社会復帰	藤田 郁代	標準言語聴覚障害学 失語症学 第3版	医学書院	東京	2021	212-215, 215-218, 252-261, 329-334
鈴木匡子	失語症の評価・診断 医学面の情報	藤田郁代、立石雅子、菅野倫子	失語症学	医学書院	東京	2021	
鈴木匡子	視覚・視覚性認知の障害と評価法	梅田聡	神経・生理心理学	遠見書房	東京	2021	68-75
鈴木匡子	視覚情報処理 症候編 見えているのにわからない	河村 満	連合野ハンドブック 完全版	医学書院	東京	2021	225-236
渡邊 修	脳外傷	渡邊 修	脳卒中・脳外傷の自動車運転に関する指導指針	新興出版	東京	2021年	97-107
渡邊 修	外傷性脳損傷(高次脳機能障害)	久保俊一 佐伯 覚	社会活動支援のためのリハ医学・医療テキスト	医学書院	東京	2021年	99-102
渡邊 修	高次脳機能障害・認知機能障害(認知症)	久保俊一 海老原 覚	内部障害のリハビリテーション 医学・医療テキスト	医学書院	東京	2022年	248-252

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
深津玲子, 永井知代子	コミュニケーション障害の様々	神経心理学	37 (No. 2)	p. 69-70	2021
Ota S, Kanno S, Morita A, Narita W, Kawakami N, Kakinuma K, Saito Y, Kobayashi E, Baba T, Iizuka O, Nishio Y, Matsuda M, Odagiri H, Endo K, Takanami K, Mori E, Suzuki K	Echolalia in patients with primary progressive aphasia	Eur J Neurol	28	1113-1122	2021

Uno Y, Iseki C, Suzuki K	Temporal recovery and delayed decline of cognitive functions in patients with hypoxic encephalopathy after cardiac arrest	Neurol Clin Neurosci	9	319-326	2021
Oishi Y, Nagasawa H, Hirayama K, Suzuki K	Neural bases of color-specific semantic loss: two cases of object-color knowledge impairment	Cortex	141	211-223	2021
Kanno S, Ogawa K, Kikuchi H, Toyoshima M, Abe N, Sato K, Miyazawa K, Oshima R, Ohtomo S, Arai H, Shibuya S, Suzuki K	Reduced default mode network connectivity relative to white matter integrity is associated with poor cognitive outcomes in patients with idiopathic normal pressure hydrocephalus	BMC Neurology	21	353	2021
渡邊 修	高次脳機能障害のある方への社会復帰支援	MB Med Reha	260	39-46	2021
渡邊 修	高次脳機能障害に対するリハビリ療—患者・家族会との連携—	リハ医学	58	418-427	2021
渡邊 修	前頭葉損傷に起因する病識低下に対するリハビリテーションアプローチ	MB Med Reha	265	7-14	2021
渡邊 修	高次脳機能障害と介護負担感	臨床リハ	31	209-217	2022
浦上裕子, 山本正浩, 北條具仁ほか	記憶障害が遷延した右尾状核出血に対するリハビリテーション	高次脳機能研究	41 (1)	45-53	2021
北村理恵, 立石雅子, 小田柿誠二, 渡辺望, 近藤国嗣	慢性期失語症者に対する代償手段獲得訓練について。—描画とジェスチャーを用いて—	高次脳機能研究	41 (1)	13-21	2021
浦上裕子	前頭葉損傷者を含む高次脳機能障害者	JJRM (リハビリテーション医学)	59 (3)	285-291	2022
新井慎, 立石雅子, 寺中智, 藤谷順子	健常者における口腔立体認知—口腔知覚判定研究用きつと DF8 を用いた検討—	日摂食嚥下リハ会誌	25 (1)	11-21	2021

Yusuke Kusano, Takeshi Funaki, Keita Ueda, Noyuri Nishida, Kanade Tanaka, Susumu Miyamoto, Shuichi Matsuda	Characterizing the neurocognitive profiles of children with moyamoya disease using the Das Naglieri cognitive assessment system	Scientific Reports	Mar 7;12(1)	Online ahead of print	2022
山脇 理恵(京都大学医学 部附属病院 リハビリテ ーション部), 村井 俊哉, 菊池 隆幸, 松田 秀一, 上田 敬太	脳室内出血を伴う脳梁膨 大部出血後に健忘と作話 を呈した1例	神経心理学	37 巻 4 号	303-314	2021
Ubukata S, Ueda K, Fujimoto G, Ueno S, Murai T, Oishi N.	Extracting Apathy From Depression Syndrome in Traumatic Brain Injury Using a Clustering Method.	J Neuropsychiatry Clin Neurosci.	34(2)	158-167	2021
Ishida J, Murai T, Ueda K, Furukawa TA, Tanemura R	Utility of a novel tablet computer software for memory impairment in participants with brain injuries: A randomized control trial.	Neuropsychol Rehabil.	Oct 12	1-18	2021
田畑 阿美, 上田 敬太, 山尾 幸広, 田嶋 あゆみ, 村井 俊哉	「右手の脳梁失行と解離 性運動抑制障害を呈した 左手利き脳腫瘍患者1例 に対するリハビリテーシ ョン」	高次脳機能研究	41 巻 2 号	227-238	2021
温井めぐみ, 上田敬太, 佐 藤伊織, 上久保毅, 河村淳 史, 清谷知賀子, 河村淳 史, 吉橋学, 佐藤聡美, 渡 辺 祐子, 若林 健一, 平野 宏文, 早瀬 朋美, 西川亮, 原純一	「小児脳腫瘍治療後の神 経心理学的合併症につい ての現状と展望」	脳と発達	53 巻 6 号	436-441	2021



# 高次脳機能障害支援者養成研修カリキュラム

＜基礎研修＞

- ◆ 対象:すべての障害福祉サービスの新人・若手職員
- ◆ 研修のねらい:
  - ・ 障害福祉サービスの対象となる高次脳機能障害者について知る
  - ・ 高次脳機能障害者の障害特性を理解し、日常的な支援での対応方法を習得する。

科目名	時間	内容	
I 講義	360		
障害の定義	40	高次脳機能障害とは	本研修の対象となる障害・研修の構成
			高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介
障害特性の理解	40	診断・評価	典型画像と経過・症状の現れ方
			問診・神経心理学的評価 (日常生活で気づくこと・留意すること)
障害特性に応じた支援	40	病院におけるリハビリテーション	医学的リハビリテーション
			病院から地域へ(診断書のポイント・地域支援体制)
障害特性に応じた支援	40	地域におけるリハビリテーション	失語症とコミュニケーション支援
			制度利用(障害者手帳と総合支援法サービスを中心に)
			相談支援(情報収集とアセスメント)
			生活訓練
			復職・就労移行支援
			生活と支援の実際
II 演習	360		
障害特性の理解	90	診断・評価体験	「順唱」「線分二等分」や「描画」等の体験(注意や記憶の働き等の理解) MMSE/WAIS/BIT/BADS など、基本対応
障害特性に応じた支援	90	退院時支援の実際 情報収集とアセスメント	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑
障害特性に応じた支援	90	生活訓練の実際	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑
障害特性に応じた支援	90	復職・就労移行支援	課題提示
			グループ検討・発表
			解説・質疑

＜実践研修＞

- ◆ 対象: サービス管理責任者、相談支援専門員などの高次脳機能障害者支援の経験者等
- ◆ 全体のねらい:
  - ・ 多職種連携(チームアプローチ)の重要性を理解する。
  - ・ 高次脳機能障害者の支援の短期的な方向性(個別支援計画等)を立てることができるようになる。

科目名	時間	内容	
I 講義	360		
障害特性に応じた支援	40	障害特性に応じた支援	障害特性に応じた支援・当地の支援体制
	40		発達障害・認知症との共通点と相違点
ライフステージに応じた支援	40	ライフステージに応じた支援	小児期における支援
	40		長期経過とフォローアップ
地域支援の実際	40	多職種連携・地域連携	チームアプローチの重要性
			支援の原則
			地域で支えるしくみ
	40	地域生活支援の実際	家族(きょうだい)支援・当事者家族会の活動
	40		コミュニケーション支援(地域生活・職場での支援)
40	支援の実践的な枠組みと記録	支援の実践的な枠組み・プロセス	
		アセスメント票と支援の手順書の理解	
		記録方法	
	40	自動車運転再開支援	評価・手続き
II 演習	360		
障害特性の理解とアセスメント	180	障害特性とアセスメント(1)	障害特性の理解
			障害特性に基づくアセスメント
			行動の背景を理解する
障害特性の理解と対応方法	180	障害特性の理解と対応方法	グループワーク(障害特性の把握と対応方法のディスカッション)
			対応方法演習(ロールプレイ)
			グループワーク及び発表(対応方法の振り返りと支援計画検討)
環境調整による支援	180	障害特性とアセスメント(2) 環境調整の考え方と方法	強みや好みを活かす視点
			環境調整の考え方
			環境調整の方法
記録に基づく支援の評価	180	記録の収集と分析	行動の記録の方法
			記録の整理と分析
			再アセスメントと手順書の修正
			チームアプローチを学ぶ(個別支援計画作成演習)
			グループ検討/まとめ

高次脳機能障害支援者養成研修 基礎編シラバス

科目	到達目標	内容	時間数
障害の定義	高次脳機能障害の定義を知る	本研修の対象となる障害・研修の構成 高次脳機能障害の定義・Q&A・各論の紹介	40分
障害特性の理解 診断・評価	高次脳機能障害が生じる背景と診断・評価の基本を理解する	診断の流れ 症状の成り立ち 症状の診かた 神経心理学的評価	40分
障害特性の理解；医学的リハビリテーション（病院におけるリハビリテーション）、医療福祉連携	急性期から回復期に至る病院でのリハビリテーションの内容を理解する。さらに、医療機関と地域の福祉機関との連携方法を理解する。	医学的リハビリテーション ① 手順 ② リスク管理 ③ 廃用症候群予防 ④ 高次脳機能障害へのアプローチ 医療福祉連携 ① 障害者総合支援法 ② 介護保険法 就労支援機関	40分
障害特性の理解 診断・評価		診断の流れ 症状の現れ方 神経心理学的評価	40分
失語症とコミュニケーション支援	失語症についての基本的なイメージを持ち、具体的な対応の要点を理解する。	失語症とは何か。 適切な対応方法	40分
制度利用	高次脳機能障害支援に関連する法制度を理解する。	高次脳機能障害支援に関連する法制度 障害者総合支援法に基づくサービス 障害者手帳制度 手続き 活用方法と事例	40分

地域におけるリハビリテーション；相談支援（情報収集とアセスメント）	高次脳機能障害支援における情報収集・アセスメントの要点を理解する。	診断名と症状や受傷発症状況 既往歴と医療機関 家族と関係者 生活状況と生活史 制度利用	40分
地域におけるリハビリテーション；生活訓練	高次脳機能障害の生活訓練について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活訓練の概要</li> <li>・ 高次脳機能障害者の生活上の困難さ</li> <li>・ 生活訓練におけるアセスメントと目標立案</li> <li>・ 訓練プログラムの内容</li> <li>・ 生活訓練における支援のポイント</li> </ul>	40分
地域におけるリハビリテーション；復職・就労移行支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な就労支援施策を理解する。</li> <li>2. 高次脳機能障害者への就労支援のプロセスを理解する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 就労支援施策 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 発症・受傷から復職・新規就労までの流れ</li> <li>② 障害者総合支援法に基づく就労系サービス</li> <li>③ 障害者雇用施策に基づくサービス</li> </ol> </li> <li>2. 高次脳機能障害者の就労支援のポイント <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高次脳機能障害者の課題と就労支援のポイント</li> <li>② 自己理解の重要性と困難さ</li> <li>③ 社会適応モデル</li> </ol> </li> <li>3. 就労移行支援における取り組み <ol style="list-style-type: none"> <li>① 就労支援のプロセス</li> <li>② 職業相談</li> <li>③ 職業評価</li> <li>④ 職業準備訓練</li> <li>⑤ 復職・就職支援</li> </ol> </li> </ol>	40分

<p>地域におけるリハビリテーション；生活と支援の実際</p>	<p>生活支援の場における支援のプロセスと支援方法、課題について理解する。</p>	<p>受け入れにあたってのアセスメント 環境調整 支援の実際 作業を教える技術 支援を通して目指すこと</p>	<p>40分</p>
<p>(演習) 退院時支援の実際 情報収集とアセスメント</p>	<p>具体的な事例を通して、高次脳機能障害支援における情報収集・アセスメントの要点を理解する。</p>	<p>脳卒中・脳外傷（通勤中の自動車事故）の事例を通して、「診断名と症状や受傷発症状況」「既往歴と医療機関」「家族と関係者」「生活状況と生活史」「制度利用」等の情報収集・アセスメントの要点を理解する。</p>	<p>90分</p>



高次脳機能障害支援者養成研修 実践編シラバス

科目	到達目標	内容	時間数
障害特性に応じた支援	障害特性を理解し、それに応じた支援を考える 地域の支援体制について知る	障害特性に応じた支援・当地の支援体制	40分
発達障害・認知症との共通点と相違点	発達障害、認知症について、認知機能の特性を知り、高次脳機能障害と比較し理解する。	認知症の種類・認知機能の低下・周辺症状について 発達障害の分類とその症状特性について それぞれを原因から理解し、対策を考えられるようにしていく。	40分
ライフステージに応じた支援	小児期発症の高次脳機能障害の特徴、症状と対応方法を理解する。子どもの社会復帰先である学校との連携や家族支援について理解する。	小児期における支援 ・小児高次脳機能障害の特徴 ・症状と対応方法 ・復学支援（学校との連携） ・家族支援	40分
家族（きょうだい）支援・当事者家族会の活動	高次脳機能障害者家族支援の必要性と支援の視点を理解する。	高次脳機能障害者家族の困難 感情反応と障害受容の理論 家族支援の視点 家族会の活動 きょうだいの問題 ケアラーとしての家族への支援	40分

<p>支援の実践的な枠組みと記録</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域生活支援を展開するための諸計画の作成ポイントやつながりを理解する。</li> <li>・ 記録を踏まえたフィードバックの意義を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス等利用計画の作成ポイントと個別支援計画とのつながり</li> <li>・ 個別支援計画の意義と手順書のつながり</li> <li>・ 記録とフィードバックの意義</li> <li>・ 地域の相談支援体制の活用</li> </ul>	<p>40 分</p>
<p>自動車運転再開支援</p>	<p>高次脳機能障害者の自動車運転支援に関連する法制度、運転評価、課題や留意事項などを理解する。</p>	<p>運転免許制度  自動車運転評価で確認する事項  自動車運転で生じる課題、留意事項など  自動車と運転補助装置の選択  自動車に関する税と助成制度など  各学会の自動車運転に関する適応や指導指針</p>	<p>40 分</p>
<p>演習  障害特性の理解とアセスメント   障害特性の理解と対応方法</p>	<p>障害特性を理解する。   障害特性に基づくアセスメントを理解する。   他者理解と行動変容に向けたスキルを学ぶ。</p>	<p>障害特性の理解  高次脳機能障害の理解  心理的要因  環境要因   障害特性に基づくアセスメント  グループワーク：事例検討   障害特性の理解と対応方法の演習  事例によるロールプレイ</p>	<p>180 分</p>

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 森 浩一

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 病院・第三診療部長  
(氏名・フリガナ) 深津玲子・フカツ レイコ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 一般社団法人 日本言語聴覚士協会

所属研究機関長 職 名 会長

氏 名 深浦 順一

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 日本言語聴覚士協会・副会長  
(氏名・フリガナ) 立石 雅子・タテイシ マサコ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する口チェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 森 浩一

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 国立障害者リハビリテーションセンター病院・リハビリテーション部長  
(氏名・フリガナ) 浦上 裕子・ウラカミ ユウコ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立障害者リハビリテーションセンター	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立障害者リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 森 浩一

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 研究所 障害福祉研究部・室長  
(氏名・フリガナ) 今橋 久美子・イマハシ クミコ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東北大学

所属研究機関長 職 名 総長

氏 名 大野 英男

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学系研究科・教授  
(氏名・フリガナ) 鈴木 匡子・スズキ キョウコ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (有の場合はその内容: 研究実施の際の留意点を示した )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京慈恵会医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 松藤 千弥

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 東京慈恵会医科大学 医学部・教授  
(氏名・フリガナ) 渡邊 修・ワタナベ シュウ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 京都光華女子大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 高見 茂

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 健康科学部医療福祉学科言語聴覚専攻・教授  
(氏名・フリガナ) 上田 敬太・ウエダ ケイタ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	京都光華女子大学研究倫理委員会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 札幌国際大学  
所属研究機関長 職名 学長  
氏名 蔵満 保幸

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) 札幌国際大学人文学部心理学科・教授  
(氏名・フリガナ) 青木 美和子 (アオキ ミワコ)

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: 札幌国際大学研究倫理規定)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	札幌国際大学 研究倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。  
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 社会福祉法人千葉県身体障害者福祉事業団  
千葉県千葉リハビリテーションセンター

所属研究機関長 職 名 理事長

氏 名 伊 東 健 司

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 障害者政策総合研究事業
2. 研究課題名 高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究
3. 研究者名 (所属部署・職名) リハビリテーション治療部 小児言語聴覚科長  
(氏名・フリガナ) 廣瀬 綾奈・ヒロセ アヤナ

## 4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称: )	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

## その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容: )

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。